

# 経営比較分析表

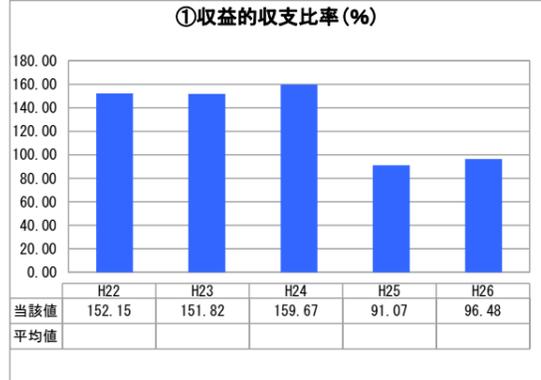
広島県 呉市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.81	56.37	3,477

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
235,624	352.80	667.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,892	0.58	3,262.07

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



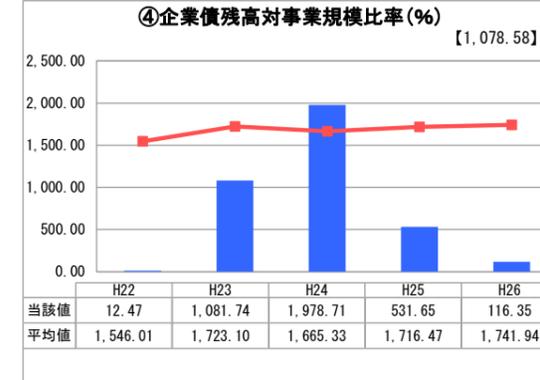
「単年度の収支」



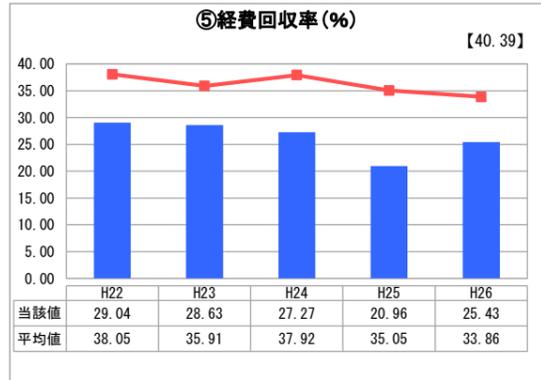
「累積欠損」



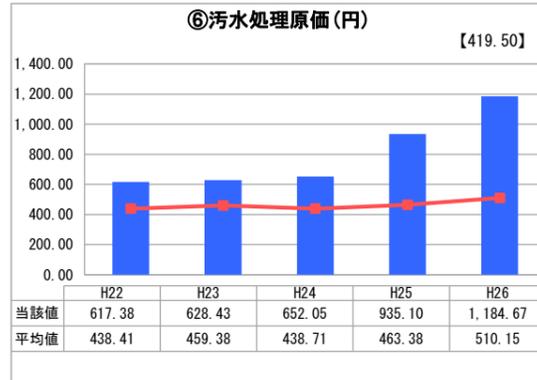
「支払能力」



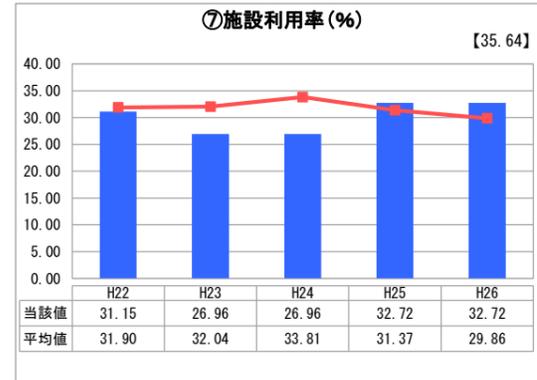
「債務残高」



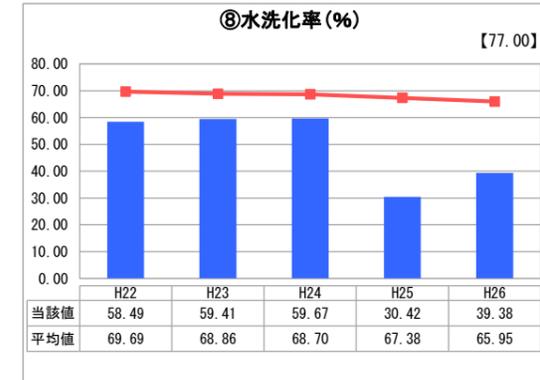
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

● 収益的収支比率が100%未満の赤字で推移している。

【要因と今後の取組】  
 当該事業は、市内3地区の漁業集落における、し尿や生活雑排水等の汚水を処理する、区域内人口1,892人(H26年度末)の規模です。  
 その経営は、経常的な経費を使用料収入だけでは賄えないため、不足分は公費(税金)で補てん(負担割合約9割)している状況です。  
 引き続き接続率の向上による使用料収入の確保に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

平成12年供用開始から18年経過、法定耐用年数を経過した管渠はありません。

### 全体総括

下水道は、市民生活等に欠くことのできない極めて公共性が高いインフラであることから、持続可能な事業運営が求められます。  
 このことから、接続率の向上による使用料収入の確保に努め、公費負担の軽減を図ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。